

機器紹介 高速多光子共焦点レーザー顕微鏡 A1RMP

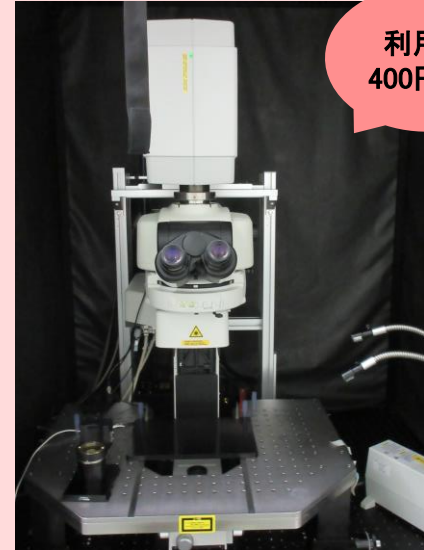
設置場所：医学研究科 共同研究教育センター 1階 生理機能室

性能：対物レンズ 25倍

レーザー 488nm, 561nm, 700nm~1080nm

検出器 多光子用NDD 4ch, 標準4ch

- ・本学の共用機器の中で唯一の高速多光子共焦点レーザー顕微鏡システムです。
- ・正立顕微鏡モデルであり、レーザー光源に近赤外線を使用し、超高感度の検出器を備えているため、組織等のより深部の蛍光を捉えることが可能です。
例えば、マウス等の実験動物を生きたまま観察したり、深部の3D観察を行うことに利用されています
- ・動物を持ち込みできる専用室に設置されています。



利用料
400円/時

機器紹介 半導体型次世代シーケンサ Ion PGM™システム

設置場所：医学研究科 共同研究教育センター 2階 機器分析室 2

性能・特徴：

- ・水素イオンを検出する3種類の半導体チップで、DNAの伸長反応時に放出される水素イオンを測定します。T-A-C-Gの順に繰り返し塩基を取り込ませることで、シグナルパターンから塩基配列を読み取ります。
- ・3種類の半導体チップは、50万本、300万本、500万本のシーケンスリードを同時並行に取得でき、サンプル数や、遺伝子パネルのサイズに応じたランニングが可能です。
- ・シーケンス長は、200塩基と400塩基が選択でき、半導体チップによって、ランタイムは2.4時間から7.3時間になります。
およそ20億塩基対を一度にシーケンス可能です。
- ・生殖細胞系列変異や体細胞変異を検出でき、疾患関連遺伝子に絞った解析に用いられます。



利用料
600円/回

共用機器センター事務局より

共用機器を利用した研究成果を論文等で発表する際は、共用機器を利用した旨の記載をお願いします。また、論文や印刷物の写し（PDFデータ等）を右記までご提供下さいますようお願いいたします。

現在171機器が
共用機器に登録
されています

問い合わせ

共用機器センター（事務局学術課内）

〒467-8601

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地

☎ 桜山 8103（山田）、桜山 8309（高木）

✉ ncu_kyoyo@sec.nagoya-cu.ac.jp